

編集後記

SFC には、風が吹いています。木々を揺らし、鴨池を波立たせ、ときに独特の匂いを運びながら、私たちにその存在を感じさせてくれます。都会のビルの中では決して感じるることのできない SFC の風を、私が実質的に初めて編集を担当する本号のテーマにしました。

本号は、長谷部先生と柳町先生の退職特別寄稿から始まり、お二人の先生が SFC に吹かせた風が思い起こされます。そして、現役の学部生、大学院生、教員による 5 本の論文・報告が続き、ファッション人類学、国際関係、イモリの生態、ネットワークと憲法、AI と倫理など、学際性溢れる SFC の新しい風を感じさせてくれます。

私が編集する SFC Journal には、常に風が吹いていてほしいと思います。終着点ではなく、さらにその先を目指す通過点であってほしいです。爽やかな風よりも、少し独特な匂いのする風のほうが SFC らしいかもしれません。

2026 年 7 月 25 日

篠原 舟吾

KEIO SFC JOURNAL 編集長